

## 八栄小学校の通学区域の見直しに関する 第1回 地域説明会 会議録

- 1 日 時 : 令和3年10月30日(土) 10時30分~12時
- 2 場 所 : 八栄小学校 体育館
- 3 参加者 : 42人

※ 質問者の個人の特定につながる箇所は、○○にて表記しています。

(司会)

皆様、おはようございます。

時間となりましたので八栄小学校の通学区域の見直しに関する第1回地域説明会を開催いたします。

まず初めに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本日、皆様にご協力いただきたい点について、説明いたします。

受付では健康観察及び消毒にご協力いただきありがとうございました。

会場内では、常時マスク着用にご協力をお願いします。換気のため、窓を開放していますことをご了承ください。

続いて、資料の確認をいたします。

まず、本日の「次第」、それからこちらの、3枚をホチキス止めした資料となります。

「資料」については、後ほど、正面のスクリーンでご覧いただくものを2画面1枚にまとめたものとなります。

なお、資料につきましては、船橋市ホームページにて公開いたします。本日いらっしゃらなかった方で資料を見たいという方がいらっしゃいましたら、船橋市ホームページで「八栄小学校 地域説明会」と検索いただくと出てきますので、お伝えください。

また、本日の議事録につきましても、後日、船橋市ホームページにて公開いたします。皆様からのご質問やご意見につきましても議事録に記載いたしますことをご了承ください。

資料の確認については、以上です。

続きまして、本日出席している船橋市教育委員会の職員を紹介させていただきます。

学校教育部学務課長 日高です。

管理部教育総務課長 五十嵐です。

学校教育部保健体育課長 高橋です。

私は、学務課課長補佐の由良と申します。

その他、学務課及び教育総務課、保健体育課の職員がおります。

また、八栄小学校の中田校長先生、石田教頭先生にもお越しいただいております。

よろしく願いいたします。

それでは、説明に入ります。

まず、学校規模の適正化、児童数推計の作成及び施設整備等の検討を担当しております教育総務課長から、八栄小学校の現状と、学区変更を検討するに至った経緯について説明いたします。

(教育総務課長)

改めまして、教育総務課長の五十嵐でございます。よろしく願いいたします。

本日は、朝早くから、また、土曜日という日にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。よろしく願いいたします。

お手元の資料の方でページをめくっていただきまして裏面の「八栄小学校の学級数・児童数と今後の推移」と書かれた表をご覧ください。

まず、八栄小学校の学級数と児童数の推移でございますが、令和3年5月1日現在、児童数はこの黄色で囲った部分になりますが、全体で1,004人、学級数は全学年で30学級であり、船橋市内全55の小学校のうち6番目に児童数、学級数ともに多い学校となっております。

全国的には少子化に向かっている中、船橋市も同様に小学校全体での児童数は平成30年度にピークを迎えて、これからは減少していく見込みでございますが、八栄小学校につきましては、前年度と比較しまして、今年度は31人増えております。また、今後も児童数が増え続け、令和8年度からは児童数、学級数共に、市内で1番、規模の大きい小学校になってしまうと私どものほうでは推計しております。

一方で、学校施設の面でも八栄小学校は、普通教室、いわゆる通常皆さんがクラスで生活する教室ですけども、普通教室に転用できる教室は来年度の学級増のために最後の1教室を転用するため、その後の学級増に対応して転用できる教室がない状況でございます。

また、学校敷地も狭隘<sup>きょうあい</sup>なため、校舎を増築することが困難な状況でございます。

そのようなことから、教育委員会といたしましては、八栄小学校の通学区域の一部を変更し、施設にゆとりがあります市場小学校、夏見台小学校にどうか通っていただくことができませんでしょうかと、今回ご提案させていただいた次第であります。

教育総務課からのご説明は以上でございます。

(学務課長)

おはようございます。改めまして、学務課長の日高です。本日は、本当にお忙しい中、また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策も続く中、多くの方にお集まりいただきありがとうございます。こちらからの説明は、なるべく手短に、かつ分かりやすくお伝えしたいと思います。こちらからの説明のあと、皆様からのご質問、ご意見を伺う時間をとってまいりたいと考えております。

なお、これから説明します学区変更は、現時点では教育委員会の「案」であり、本日は、この「案」に対するご意見をいただく場と考えております。いただいたご意見を持ち帰り、検討させていただいたうえで、第2回以降の説明会で回答させていただければと考えております。その後、船橋市学区審議会の審議を経て、教育委員会会議で規則の改正が議決されることで決定することになります。

先に教育総務課長から説明いたしましたように、八栄小学校の教室不足の解消を図るため、学区の線引きを変える案についてただいまから説明いたします。

まず、八栄小学校の現在の学区について説明いたします。こちらをご覧ください。八栄小学校の学区は、夏見1丁目から7丁目を中心に、こちら、東側の米ヶ崎町の一部も八栄小学校の学区になります。西側の北本町の一部については、塚田小学校との選択地域となっております。

次に、教育委員会が検討しています令和5年度以降の新入学生を対象とする学区の変更案について説明いたします。ピンク色の地域、こちらは夏見7丁目全域です。こちらを夏見台小学校の学区に変更することを考えております。

続いて、緑色の地域、夏見1丁目と5丁目の一部、東葉高速鉄道の軌道から南の地域を対象とし、市場小学校の学区に変更する案となっております。

なお、対象地域の東側、米ヶ崎町を学区変更の対象にしていないのは、こちらの地域は、今後、海老川上流区域の区画整理事業計画の状況を見て、別途、米ヶ崎町やその周辺地域についても学区変更をしていく、そういう対象になっている地域であるため、今回の学区変更の対象からは除いております。

それでは、ピンクの地域、緑の地域、それぞれの詳細を説明いたします。

まず、ピンクの地域、夏見台小学校の学区に変更予定の地域からご説明します。

夏見7丁目の6番、10番は、現在、宅地開発が進んでいます。この○をつけた箇所は、この信号機のある交差点です。ここが八栄小学校と夏見台小学校の学区境となつていまして、この交差点からは、八栄小学校・夏見台小学校、どちらへも1km程度となります。この地点から八栄小学校寄りになればなるほど夏見台小学校への距離が延びるということになりますが、夏見7丁目全域を夏見台小学校の学区にさせていただきたいというの

が教育委員会の案になります。この地域から夏見台小学校への通学については、この交差点に出て医療センターの方に向かい、セブンイレブンを左に曲がって、坂を登っていくという経路を想定しています。今年度の夏見台小学校の調査では、現在40人程度の児童がこのセブンイレブンを曲がる地点を通過して通学しています。

夏見台小学校は、昭和48年創立、船橋市の人口がどんどん増えていった時期に創られた学校です。一時期は1000人を超える児童数でしたが、ここ6年間では700人台から600人台と、毎年、少しずつ児童数が減っている傾向です。現在は、25学級のうち4学級が特別支援学級となっております。

なお、このピンクの地域について、中学校の学区は、船橋中学校の学区のままで変更はありません。夏見台小学校の児童の8割が船橋中学校に進学しています。

次に、市場小学校への学区変更を検討している地域について説明いたします。

主に夏見5丁目、この地図上、右側の地域になりますが、そちらについては、東葉高速鉄道の軌道沿いにウエルシアの前に出ていただき、リクシルの前を通過して、市場通りに出ていただきます。その後、左に曲がって、市場沿いを約450m歩き「古谷式典」の交差点を右に曲がって市場小学校まで400mとなります。ウエルシアから市場小学校までが約1km、そこに東葉高速鉄道軌道沿いを歩く距離が加わります。

なお、この地域の方が市場小学校に行くに当たっては、海老川沿いの遊歩道を通れば、もっと近くなるのではないかと既にお問合せも何件かいただいております。車道沿いの歩道を歩くより、歩行者専用の遊歩道の方が安全ではないかのご意見もいただいております。

しかし、河川沿いの遊歩道については、川への転落や、大雨などの災害時の被害が心配されること、また、市場場内においては業者のトラックなどの往来が激しいこと、さらに、道幅が狭いにもかかわらず通勤・通学の自転車が非常に多く走行しており、交差する箇所もあることから、児童の通学経路には適さないものと考えております。

同じく、夏見1丁目側から市場小学校への通学については、本町5、6丁目内を縦断する経路を想定しています。あおぞら動物病院前の交差点から市場小学校までは約770m、八栄小学校までは970mと、夏見1丁目の一部の方については、八栄小学校より市場小学校のほうが少し近くなるかと思えます。

市場小学校は、昭和60年に創立した、今年度開校した塚田南小学校の次に新しい小学校です。

市場小学校学区内の児童の中学校の進学先は、宮本中学校です。今後、小学校の学区を変更した場合は、現在の市場小学校の学区内の児童は宮本中学校へ、今回学区変更を予定している夏見1丁目、5丁目の児童は船橋中学校へと、進学先が分かれることとなります。

地域の代表の方にこのことを説明した際、夏見1丁目、5丁目については、船橋中学校と宮本中学校を選択できるように設定したほうが良いのではないかとのご意見をいただいておりますが、宮本中学校は、現在の学区の生徒だけで将来的に教室不足が懸念されているため、これ以上、生徒数が増える選択地域の設定はできない現状です。

人数的には、市場小学校から宮本中学校に進学する児童と船橋中学校に進学する児童は、半々ぐらいになると思われれます。同じように、進学先が半々に分かれてしまう小学校は、市内にほかに7校あります。中学校の生徒数の調整及び配置の偏りというものもあり、こちらについてもご理解いただきたくお願い申し上げます。

以上が八栄小学校の通学区域の変更に関する、教育委員会の案の説明となります。

皆様に大きなご負担をおかけする学区変更案であることは承知しております。しかし、子供たちの学びの環境に影響がある、過大な学校規模や教室不足の問題は、改善しなければならぬ喫緊の課題であります。

どうかご理解いただきたく、重ねてお願い申し上げます。以上となります。

(司会)

皆様から、ご意見、ご質問をいただくに当たり、感染症の感染拡大防止のために、マスクを着用のまま、こちらからお渡しするマイクをご使用いただくようお願いいたします。質問される方が変わる都度、マイクを消毒いたしますので、ご質問を終えられましたら、マイクを次の方に回さず、お近くにおります職員にお渡しください。

また、個人が特定できる内容以外は、本日のご意見ご質問も船橋市ホームページ等に掲載いたしますこと、ご了承ください。

なお、職員が回答させていただく際には、手元に資料等もございしますので、着座にて失礼させていただきます。

それでは、ご意見、ご質問をお聞かせください。挙手にてお願いいたします。順番にマイクをお持ちいたします。

(質問者1人目)

本日はご説明ありがとうございます。

船橋市夏見1丁目に住んでおります2児の父になります。本日、ご意見を申させていただきます。私の要望としては、八栄小学校を選択地域にしてほしいというものです。こちらは、恒久的に選択地域ということではなくて、令和6年度まで選択地域としていただきたいというのが意見となります。その理由は、八栄小学校に通う予定で、すぐ隣のひまわり幼稚園を今年、選定しました。そして今、長男が通っています。マンションも夏見1丁目の方に購入しまして、学区域の変更に沿って家を変更するというのはあまり現実的では

ないと思っております。この変更案も昨年知っていたら、今回のようにひまわり幼稚園にするかどうか検討するところでしたので、今年の幼稚園生の分までは、選択地域にしてほしいというのが、私の意見であります。よろしく申し上げます。

(学務課長)

はい。ご意見ありがとうございます。今、いただいたご意見は本当に理解できる場所ではありますが、先ほど今後の推計をご説明させていただいたとおり、令和5年度には教室が足りなくなってしまう推計と現在、なっております。そうすると、今、おっしゃられたように例えば1年これを遅らせることによって、令和5年度、足りない状況になってしまうことが予想されますので、時期を1年遅らせるというところが非常に難しい現状があります。そこを何とかご理解いただければとこちらとしては考えている場所であります。

以上です。

(質問者1人目)

今回は、もともと冒頭に言っていたとおり、案として聞いているというふうに理解しておりますので、今の発言だと、そのままこのとおりにやりますと解釈するんですけども、あくまでも私一人の意見ではなくて、今日参加しているのは私になりますけども、ほかにも同じ幼稚園に通う方だったり、近所のほかのご両親の方も同じように思っているということをお伝えしたいです。

(学務課長)

はい、ありがとうございます。そうですね、今回、最初に申したとおりの案という形で説明させていただいていますし、今日は、いろんなご質問やご意見をいただけたらと思っておりますので、先ほどのことも伺わせていただいた上で、持ち帰って、当然、検討させていただいて、次の第2回の際にご提出させていただきたいと考えております。

以上です。

(質問者2人目)

ご苦勞様です。私、先ほど説明にありましたウエルシアの近くでスクールガードをやっております〇〇と申します。よろしく申し上げます。

私は、2点について要望します。一つは、コミュニティです。船橋市は、24コミュニティ、この辺は夏見地区と言いますが、その上には、中部ブロックがあり、その中に夏見地区、夏見地区には各自治会がありまして、各自治会の連合会というのがあります。その地区には、ご存じのように公民館があり、それぞれの公園があり、幼稚園もありま

す。その中で、子供たちは育っていきます。歴史的な経過から言いますと、八栄小学校から一部、40年ほど前ですか、人口が増えるときに八栄小学校から400人ほど異動して夏見台小学校ができた、そういう経緯があります。私が言いたいのは、要は、コミュニティの中で、調整すべきじゃないかということです。例えば、各自治会の行事とかあるいは公民館の行事とか、小学校を巻き込んだ行事が非常に多いです。そこにおいては、夏見台小学校であろうと八栄小学校であろうと、お互いに顔見知りで交流があります。近くの夏見台小学校で夏のお祭りをする時には、八栄小学校の子供たちも一緒に、夏見の4丁目の児童公園で祭りがある時には、八栄小学校の子であろうと夏見台小学校の子であろうと、お互いに「行こうね」と、そういう地域の中で子供たちは育っていくのだと思います。だから、これを市場のほうに行くというのは、通学だけじゃなくて、生活そのものが変わっていくと思うのですね。だから、できればこのブロック内、夏見地区の中で調整していただければありがたいと思います。なぜかといえば、資料によりますと八栄小学校が増えている分がちょうど夏見台小学校でというのが現状であります。夏見台小学校と八栄小学校は同じコミュニティで、お互いに顔見知りで、塾も一緒だとかあるいはクラブも一緒だとか、子供たちの中で非常に和やかに過ごしていると思います。そういう点では私は、夏見台小学校と八栄小学校を一つに考えてブロックでどうするかということです。歴史から言えばですね、学校ができるからといって、近くの農家の方が無償に近いところで学校に運動場を寄付しています。そういう歴史をみたら、やっぱり地区内で子供たちの面倒を見るというのが今の時代、特に必要だと思います。それから、この中では、市場小学校をどうするかということが出ていませんけども、たまたま市場小学校が、非常に存続が困難であるということで、八栄小学校の一部を市場小に入れるというふうに悪い方に解釈すれば、人によって意識してしまうかもしれません。市場小学校についてももう一度、教室等考えていく必要があるかと思います。それから、先ほど質問がありましたように、子供の心理というのは非常に微妙です。先ほど、ひまわり幼稚園に行って隣の子と一緒に幼稚園に行っているのと、それでAさんの子はお兄さんやお姉さんがいるから八栄小に行ける、僕は一人っ子だから市場小学校に行かなくてはならない、これを親が子供にどう説明するかというのは、非常に頭が痛いというか心配事です。私の経験から言いますと、私は40年ほど前に岐阜から夏見の方に転勤してきたのですが、そのときに子供が2年生でした。2か月ほど学校へ行くことができませんでした。やっぱり友達がない、それでも、毎朝、同じクラスの子が迎えに来てくれまして、なんとか2か月の間に学校に行くことができました。そういうことで、やっぱり隣の友達が非常に学校に行くのに大事なことなんです。いくら親が、あるいは先生が学校に行きなさいと言ってもなかなか足を出してくれませんけども、友達が毎日、朝迎えに来る、ということで、やっぱり子供の気持ちというのを大事にどうか再考をお願いします。

(学務課長)

ありがとうございます。本当に、おっしゃるように、学校というのは地域の方のご協力があって運営できている面がありますし、子供たちの安全ということについても、地域に守られているということがあってかなというふうに心より感じております。それについては本当に感謝しているところであります。こちらの学区の線引きをする上で、その町会・自治会の境というのは大事な要素として考えているところでありますが、今回のこの範囲の指定については、どうしてもこの町会を分けるような形にならざるを得ない状況が起きていますので、そこを何とかご理解いただければというふうに考えているところです。

先ほどの方からもありましたけれど、幼稚園とか保育園とかの関係で、そういった友達関係も分断されてしまう、そういった状況が出てしまうんだといったことは、本当に今、お話を聞いて、重く受け止めなくてはいけないことだと思っておりますので、このことについても、しっかり検討させていただければと思っております。

市場小学校につきましては、来年度、選択地域を設定させていただいて、今回の夏見1丁目・5丁目の選択地域について設定させていただいて、少しでも市場小学校に人を集められればというところを考えてはいます。さらに、ここ以外にも、選択地域の設定をして、人が少しでも流れればと考えているところではあります。ただ、令和5年度以降のこの通学区域の変更につきましては、これはもう八栄小学校の教室不足を解消するための学区の変更とご理解いただければと考えております。

ご意見、ありがとうございます。

(質問者3人目)

本日は、お忙しい中、ご説明ありがとうございます。私も先ほど意見を言ってくくださった方と同意見でして、去年、住居を購入しまして、当初、八栄小学校になりますからと説明を受けまして、子供を保育園に通わせているのですが、当然、駅に近い保育園を選ぶ予定だったのですが、八栄小学校にいずれ通うからと分かっていたので、子供にはたくさん友達を作って、多くの友達と小学校に通ってもらいたいと八栄小学校付近の保育園をあえて選びました。そういう状況がこちらもありまして、せっかく八栄小学校に通うということも分かっていたので、習い事等も含めまして八栄小学校付近で友達と通ってもらうということを考えて通わせているんですけども、急きょこうやって、市場小学校に学区変更になり、正直、ものすごい人生設計が崩れてきたなと思っております。また、せっかく多くのご近所さんと、お友達も増えているところにですね、線路で区切られているということで、どういうところに考慮してこのエリアを設定したのかというところが正直、疑問です。なので、私、ここにいる皆さんもどう思っているか分かりませんが、今、せめ



て住居を構えている方につきましては、八栄小学校か市場小学校か夏見台小学校かを選べるというようにしてもらいたいなど正直思っております。今後、自分のエリアが市場小になるのは致し方ないのですが、住居を構えている方に関しては選択制にしていただきたいと強く思っております。また、この通学路、いろいろ検討されて設定されたと思うのですが、子供と歩きましたところ、市場小学校なんですけども、この通学路どおりに子供と歩いたら、35分かかりました。実際、八栄小学校も歩きましたところ、八栄小学校は15分で通学できます。市場小学校に通うために、最短ルートを考えまして、それが、川沿いに歩いていきまして、市場内を通って行きまして市場小学校に行くという通学ルートで行きますと、20分弱で行けると思います。

今回の通学路に関しましても、35分実際かかったということで、本来15分で八栄小学校に行けるんですけども、片道20分、往復40分と、正直、子供の通学の危険なリスクが増えるなど思いました。この東葉高速線の線路沿いを歩くというところは、多くの車が裏道として使っておりまして、非常に自動車が速度を出して運転しております。歩道もなく、荒れ果てた草木が伸びきっておりまして、子供だけが歩くというのは、非常に危険だなど思いました。どうかですね、私たちも、事情が事情なので協力することは致し方ないと思っておりますが、先ほどから「どうかお願いします。」ですとか「ご協力お願いします。」ですとか、そういうお言葉しか聞けてないのですが、どうかそちらも少なからず歩み寄っていただかなければ、ここにいる皆さん「いいですよ。」とは、首を縦に振れない状況です。なので、もう一度、喫緊の課題なのは分かっていますけども、どうかこちら側、私たち側にも歩み寄っていただきたいというのが、率直な意見です。

(学務課長)

ありがとうございます。本当に、最近、家を買われて住まわれているような方々、多くの方々が、今、お話しいただいたようなお気持ちを抱いていること、こちらでも理解をさせていただきつつありますけども、改めて多くの方にお話しさせていただいて、そういった強いお気持ちを我々も感じているところです。何とか、例えば、今、ご意見の中にあつたような方法、いわゆる、家を購入した方については変更してもらえないか、そういう方法についても、しっかりともう一度、検討した上でご回答する必要があるかと思っておりますので、しっかりと検討させていただければと思います。

先ほど、通学路の話があつたかと思うんですけども、本当に今、おっしゃったように東葉高速鉄道沿いの道につきましては、特に、奥と申しますか、あの抜け道になっているところについては、交通量も多いですし歩道もない、結構、車も飛ばしているという状況は理解しているつもりです。ご心配は非常に、こちらでも理解しておりますので何かまたそれについても取れる方法がないかについて検討しなくてはならないと思っております。その

学区の、こういった形で線を引かせていただいたわけですが、大きな理由としては、この地域、非常にまだ空いている土地がありまして、今後ますます宅地開発が進むことが想定される地域になりますので、そういった地域の学区を移しておかないと、八栄小学校がもたなくなってしまうということでこの地域を指定させていただいたわけでありまして。本当に、ご意見、お気持ち、こちらとしてもしっかり受け止めさせていただいて、改めて検討させていただきたいと思っております。以上です。

(質問者4人目)

本日はご説明ありがとうございます。

私はウエルシア付近に住んでおりまして、現在、〇年生の八栄小学校に通っている子と、令和5年に1年生になる年中の子供がいます。現状で言えば下の子もお兄ちゃんと一緒に八栄小学校に通うことができますけども、〇年間八栄小学校に通っていて、やはり規模が大き過ぎていて、柔軟に対応できないとか、業間休みも学年ごとに区切られているので遊べない日がある、そういった部分があるということを知らずに入って、私自身も金杉台小学校中学校出身でして、もう廃校決定になっておりますけど、小規模で育ていますので、これだけ大規模になるとやっぱり柔軟に対応できないという意味では、市場小学校に移るということに関しては致し方ないのかなと思いました。先ほどのスクールガードをしてくださっている方の話のとおり、地区を分断するという意味では、夏見台の上の今、夏見児童ホームのところで線を引かれているのだと思いますけども、そのラインをちょっと考えていただくとか、夏見地区でそろえていただくとか案としてはあるのかなと思います。もし市場小学校に通うっていうことを選択した場合ですね、上の子にちょっと聞いてみました。そしたら「全然いいよ。毎日、外で遊べるんでしょ。」ということで、ただ、通学路のことですね、信号をどこの部分で渡るとか細かい部分は分かっていないのですが、ウエルシアの前に住んでいると、生活地域としては駅方面に行きます。左に曲がるということはほとんどないんですね。車で通る程度です。なので、ほとんど行ったことがないんです。逆に市場の中、お兄ちゃんは毎日習い事をしていきますので、一人でここを通って駅の方に向かっております。ここを通学路として使えないというのを、本人に説明するとき、先ほど言われたとおり、トラックの往来が多い、自転車が多い、川への転落の可能性もある、というのも全部教えた上で、川には絶対に入ってはいけない、落とし物をしても拾ってはいけないということを伝えております。自転車が多いので端っこを通る、あとトラック、警備員さんがいらっしゃいますけども、往来があるので横断歩道のところでは止まるということも伝えていきます。そういった上でうちの子は毎日ここを通らせているんですが、通学路として使えないというときに、かなり遠回りになるだけで、子供としても「え、なんで？そっち通るの？」と思っております。市場内に関して言えば、柵が付い

ていますので、もう一度ここに関しては検討いただければと思いますし、最悪、自転車の通りが悪いということであれば、川の反対側、ほとんど人が通っていませんので、あちら側を通学路にさせていただくとかそういった形で考えていただければなと思います。以上です。

(学務課長)

はい、ご意見ありがとうございます。一番最初、お話しの中で、学校規模、今、八栄小学校が非常に人数が大きくなっているというお話があって、いろいろ難しさが出てきているというお話をいただいたところですけども、今回、学区を変更して行っていただく市場小学校、夏見台小学校については、教室とかグラウンドについてはゆとりがありますので、そういった施設と子供の数のバランスを考えればゆとりはありますので、そういった良さとかメリットもあるのかなと考えております。ただ、それ以上に通学路の距離が延びてしまう、そういった負担をおかけすることになってしまうということについては承知しているところです。先ほどの市場の中の話がありましたけれども、そちらについては改めて通学路の所管のほうから少し話をさせていただければと思います。

(保健体育課長)

ご意見ありがとうございます。通学路のことに関しまして先ほど説明させていただいたんですけども、安全面という点でいろいろ考慮しなければならない面がございます。河川ですとか道路ですとかそういうものについて、県が関わっているところもございますので、ご意見を持ち帰りまして、担当部署と相談した上でまたお答え申し上げたいと思いますので、持ち帰らせていただきます。

(質問者 5 人目)

夏見 5 丁目の東葉高速の南側に住んでおります。昨年、家を購入しまして、子供が今、3 歳、八栄小学校に行く前提で幼稚園を選んでおまして、八栄小学校に行く友達ばかりで、急に市場小学校に行くとなると友達がいなくなるとなると、夏見 5 丁目は南側はまだ人が少ないです。実際のコミュニティって東葉高速の北側の人と結構付き合いがあるんです。そこで切り離されてしまうと、目の前で同じ学年の子が住んでいるのに、違う小学校で、付き合いが無くなって行って、コミュニティという意味でも地域から隔離されてしまうとなりかねないんですね。南側のほうも今後、家が増えていくとしても結局、同じ学年の子がいなくて意味がないんですよ。そんな可能性というか、そんな話をされるのではなくて、超えるまで選択制にさせていただくとか、コミュニティ単位で幅を広げるとか、切り離すとか、今の切り方では本当に孤立してしまうんで 5 丁目が、そこは範囲の見直しをし

ていただくとか、家を買われたという方が何名かいらっしゃいましたけども、それって重要な人生の選択なので、そこに「ご理解をお願いします。」というのは、ちょっと無理なんじゃないですか。もっと言うと、去年の時点で分かっていますよね。市場小学校が減少していくことなんて。塚田南小学校が出来て、そっちに移っていった子もいて、分かっていたんじゃないですか。分かっていたのなら、無計画性の責任をこっちに押し付けないでください。家を買った人たちはせめて選択制とかにしてもらわないとすごい重要な人生の分岐なので、そこはご理解いただけたらと。あと、通学路はやっぱり問題で、通うにしても、東葉高速の道ってすごい危ないですよ。事故も起きて。大人でもそこは歩かなくて、海老川を歩くんですね。大人でもそこは通らないです。子供にそこを歩けとはとても言えないですよ。その安全性はどうやって確保するかというのは、どうお考えなんですか。そこをお答えいただきたい。

(学務課長)

はい、ご意見ありがとうございます。先ほどから出ていますとおり、コミュニティの面ですね、本当に、友達と切り離されてしまうとか、地域の中で孤立してしまうっていうのは、本当に重要な問題とと思っていますし、本当に人生が変わってしまうというか、そういったことなのかなと改めて感じております。先ほどからずっとお話ししていますが、今日、そういったご意見、たくさんいただいておりますので、たくさんのご意見いただいたということが重要だと思いますので、それを持ち帰ってどういった方法が取れるのかということ、改めて真剣に考えさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。通学路の件につきましては、所管のほうからお話しいたします。

(保健体育課長)

ありがとうございます。安全面につきましては、教育委員会と学校のほうで話し合いを持ちまして、その学校からの要望によりその道路管理者である船橋市道路部や、交通管理者である船橋警察署のほうに要望を提出するという形を取っておりますので、今回もこのような方法をとっていきたいと考えております。

(質問者 6 人目)

お疲れ様です。〇〇町会の会長をしております〇〇と申します。私は今日こちらに説明をしていただくと聞いた際には、児童推計のことをもう少し詳しく話していただけるというように考えておりましたが、今日は教育委員会の方しかいらっしゃっていないので、児童推計のことについては説明していただけないんだと理解したんで、今日の説明会は不十分であると思っています。皆さんからのお話しの中には、この資料の 2 ページ目、八栄小

学校の学級数、児童数の今後の推計をこれはあたかも事実であるかのように進んでいるところが非常に危険だというふうに感じております。私の前にご質問された方もおっしゃっていましたが、宅地開発事業を所管しているのは船橋市じゃないですか。ですから、その地域にあとどのくらいの人口が増えるかというのは船橋市は知っているはずなんです。それに合わせて学校の設置計画なりクラス数を増やしていくという計画も、本当は立てるはず、だと思います。ですから、ここに、前にお座りになっている皆さんは、今後の宅地開発の状況については、分かっているはずでこの推計を作っているんですね。でも、私たち住民にはその説明はないじゃないですか。この推計があるから、コミュニティを分断するとか通学路が危ないとか、様々な問題が発生している、この一番、原因の部分について説明がありません。それは説明会として非常に不十分です。だからまずは、なぜこの推計になるのかという大前提をきちんと話すべきじゃないですか。この推計だって、どのくらいの確率で当たっているのか、本当にこのようになるのかだって今まで実績があるじゃないですか、いろいろなところで。それについても説明がない。だからこういう状況になっていくのはこういう想定があって、こういう前提があってというのが何もなしに、ただ、ただ数字がだっと並んでいて、令和5年になったらもう全然足りない。もうちょっと言うと、もう少し手前の方もおっしゃっていましたが、皆さんは今日これ、案を出しているわけですよ。だったら持ち帰り検討すべきことももっといっぱいあるじゃないですか。学校を増設するとか。何にもないじゃないですか。それで皆さんからご意見が来ると、案を持ち帰り検討しますという話だったのを、なんだか「できません。できません。」という持ち帰り検討する話になっていないですよ。それもおかしいです。今日、時間もどのくらいあるかわかりませんし、説明する方がいるか分かりませんが、この最も重要なこの推計どうなのという説明が全然ない、まずそれをきちんとやるべきです。それから、持ち帰り検討するというのなら、今、ここでそれはできません、あれは無理です、仕方がありませんと言うべきではありませんよ。おかしいです。だから、皆さん持ち帰り検討するんだったら、2回目の時に、皆さんの案はどうなのかというのを出さなきゃだめですよ。今、ここで私も話を聞いていたけども、説得する会になっているじゃないですか。おかしいです。2回目以降の会の運営は改めていただきたいですし、まずはこの推計についてきちんと説明するべきです。ご回答いただけなくて結構ですよ。今日は回答できないと思いますから。2回目以降の説明会ではきちんとやってください。要望です。

(教育総務課長)

すみません。では、推計のことにつきまして教育総務課のほうから拙い説明になるかと思いますが、説明できる範囲で説明させていただきます。

まず、推計というのは、この字のとおりなんですけれども、将来、この学校に子供たちがどのくらい入学することになるのかという予想値でございます。従いまして確かにここに書かれている数字というのは確定値ではないので誤差というものは生じます。我々としては、できるだけ誤差が生じないような計算方法に基づいて推計をしております。その方法につきましてご説明したいと思います。まずはその前提なんですけれども、本日、ここに教育委員会の職員しかこの場におりませんので、うまく説明できないかもしれませんが、そもそもその地域にお子さんであり、人口が増えるというのは、宅地の開発によるものです。市では都市計画法や建築基準法に適合している場合には、宅地開発を抑制することができないという、教育委員会とは別の世界なんですけれども、そういった宅地開発が行われていて、我々のほうには、こういった宅地開発がありますよといった開発の許可申請の段階で情報が上がってきます。そういった数字を加味したり、あとは現在、夏見5丁目、7丁目の辺りは家が建っていると思うのですけれども、そういった地域によっては急激に宅地開発が行われる地域もあります。また、大きなマンションがどんと建ってしまうということがあります。そうしますと、例えば5年前に考えられていた数字と、5年後では実際に大きな数字の乖離<sup>かいり</sup>というものが生じます。そういったものを少しでもなくそうということで、実際に今、令和3年度ですけれども、過去5年間に遡りまして、その地域でどのくらいお子さんが増えたのかという補正率というものを掛けます。それがあまり宅地開発がされていない落ち着いた街ということであれば数字で言うと補正率は1であるということで、実際に今住んでいるお子さんがそのまま学年が上がって行って、例えば0歳のお子さんが100人いたら、そのまま100人のお子さんが小学校に入るといようなものです。宅地がどんどん増えていくだろうという見込みになったら、そのもととも地域に100人いるというお子さんに対して数%の社会増、補正率というものを掛け合わせて、このペースで建ち開発が進んでいったら、その率が掛け合わされていっておおむねこれぐらいの数字になるだろうということで、今、この資料は作らせていただいております。従いまして、この先、もっと急激に開発が進んでしまったら、もっと数字が大きくなるかもしれません。例えば、景気がものすごく悪くなって宅地開発が止まってしまったら、ひょっとしたらこの数字はもう少し下がるかもしれません。ですので、非常に不確定な話で申し訳ないのですけれども、我々もできるだけ精度を高めてこの数字は作っているつもりでございます。

あと、実際に教室が足りないという話を学務課がしておりますが、実際に小学校のークラスの人数というものは法律で決まっております。今は1年生から2年生は35人。3年生以降については、県の教員の配置の基準によって3年生は35人、4年生以上は38人以下ということになっております。(下線部分は会議録作成時に加筆しました。)あくまでこ

これは予想ですので数字というのは1人2人の数字ではなく、10人、20人単位で変動する可能性があるのですが、実際に教室不足という関係になってしまいますと、1人、2人というかなり精度の高い数字で教室が足りないという話をしなくてはいけなくなりますので、そこは非常につらい矛盾点を感じているんですけども、今現状、我々が作った数字の中では、このような状況ということでご理解ください。

あと、持ち帰らせていただきますというお話の中なんですけれども、当然、学校のほうは、八栄小学校、かなり厳しい状況です。厳しい状況というのは、平成20年辺りからずっと続いておまして、本来、ほかの小学校ではあるべき、例えば小学校の算数については習熟度に応じてレベルが違ったら少人数の算数教室として部屋を分けて授業を行っていたりとか、英語のための部屋があったりとか、そういった部屋があるんですけども、八栄小学校については、そういったお部屋も教室に転用してしまっていますので、一切、部屋がない状況です。

あとは、皆様の家をお買いになったという人生の選択を重く受け止めておりますので、実際には学校運営をしていく中でどのような工夫ができて、あとは部屋の確保ができるのかといったそういうことにつきましては、しっかり持ち帰って皆様のご意見にも寄り添える形で検討していかなければならないと思います。

話がよくまとまらないのですが、推計についてはできる限り地域の開発の状況を踏まえて補正を加え、今、この開発が進んでいると見込んだ中でこの数字を作っているということを、あとは、持ち帰るということにございましては、学校運営との兼ね合いということもございまして、その辺を検討させていただいた上で、次回ご報告させていただければと考えております。以上でございます。

(質問者7人目)

説明ありがとうございます。私は年少のひまわり幼稚園の子供がいる親なんですけども、やっぱり子供が今ひまわり幼稚園に通っていて友達も沢山、夏見地区にいて、ウエルシアの近くのアパートなんですけども、持ち家の子だけというのは止めていただきたいなと思います。やっぱり、八栄小学校に通えるからその幼稚園にしたというのがありますし、友達もできている中で、そこで線引きされるのは困るなというのがあります。下に〇歳の子供もおりますけども、坂の下から一生懸命3人で歩いて通っております。子供にも、小学校もこの道だから一緒に頑張ろうねと言いながら通っております。だから市場小学校に通うというのは困ります。あと、夏見1丁目ですけども、みんながみんなひまわり幼稚園の子供ではないので、金杉幼稚園とか夏見幼稚園の方もいるので、選択制というのはいいのではないかと思います。あともう一点、通学路の件なんですけども、遠回りすぎなんではないかなと思います。今、子供と歩いていて、そんなに危険だなと思ったことはない

ですし、森のシティの子たちは川沿いを歩いて通っていました。それで森のシティの子たちは、今、きれいな小学校に通っています。差を感じるなどというのがありますので、通学路の件と、学校を選択制にしてほしいというのはちゃんと考えてほしいなと思います。

(学務課長)

ありがとうございます。お気持ちはしっかり受け止めましたので、前半の選択制を考えてほしいという部分、これについては今までいろいろご意見いただいておりますので、その中で状況は、持ち家だったり、マンションだったり、様々だと思いますので、その辺も踏まえた上でしっかりと検討させていただいた上で、また次の時に説明させていただければと思います。通学路については所管の方からお答えします。

(保健体育課長)

ありがとうございます。通学路についてはいろいろと所管部署等ございますので、持ち帰りまして、連絡、相談した上で確認をしていきたいと思っております。よろしく願います。

(質問者 8 人目)

地元の自治会の〇〇と申します。今回の学区変更に関しまして、市場小学校が人数が減って学校運営がしづらくなってしまいます。だからどこかから集めてこようか、こんな発想があったのかなと思ってクエスチョンマークだったんですけども、これと同じようにやっていくんでしたら、学区変更に関しまして通学路の件ですけども、東葉高速の北側、南側、これは歩道がありません。これは市道ですから、市の道路管理課と話せばできることなんで、歩道をつけてもらってください。それと、あと市場通り、これは警察の関係もあるでしょうけど、信号のところに、歩車分離、この信号に変えていただきたい。これは通学路の安全のためには必要だと思いますので、その辺は早くしないと予算の関係もあるでしょうから、できるようにしていただきたいと思っております。よろしく。

(学務課長)

ありがとうございます。前半の、市場小学校を何とかするためのものなのではないかということなんですけども、来年度の選択地域にさせていただいたことにつきましては、これはやはり市場小学校に少し流れて、市場小学校の人数の減少を食い止められればということの意味合いがあるわけなんですけど、令和 5 年度以降の今回の通学区域の変更に関しましては、これは市場小学校を救うためということではなく、あくまでも八栄小学校の教室不足解消ということですので、そこはご理解いただければと思います。それか



ら、これもさっきから何度も出ているんですけども、通学路ですね、東葉高速鉄道沿いのこの部分につきましては、改めてここについては持ち帰って、各部署と調整しながら考えていくということになると思いますし、あと、信号の件もですね、早急に手を打った方がいいということですので、動物病院のところですよ、その信号の所ですね、(質問者から「海老川の所の信号も」と指摘) パールプラザがあった所ですかね、そこと、動物病院の所と2か所、その信号についても、ご意見をお伝えさせていただきます。ありがとうございました。

(質問者9人目)

先ほど、そちらとしてもかなり数値を使った試算をしているという話があったと思うんですけども、こういうのは前から知っていたと思うんですよ。であれば、今日話の中で何度も「もう時間がないですよ。これでなんとかしてもらえませんか。」という話がありましたけれども、あなたたちは、もっと早く、私たちにこういった話をして、こういった議論をもっと早くするべきだったんじゃないかなって思うんですよ。本来であれば、こういった話をもっと早くからしていただいて、早くから選択制に切り替えて、その中で課題が出てきたものを改善しながら、じゃあ、ちゃんと線を引きましょうと、出てきた課題も一つ一つクリアしました、そういうことが住民に対しても納得感がある形で移行できたのかなと、あなたたちはそこをしないですりギリギリになって、今日の話聞いていますと、私たちにに対して、今回の案の中で寄り添って考えてくれたというところが感じられないんですよ。自分たちの都合だけで簡単に線を引いて、じゃあこれをお願いしますと、私たちの生活や、子供たちの通学に対して、考慮してくれているようなところが感じられない中で、ギリギリの状態を持ってきて何とかしてくださいというのは、あなたたちは仕事としてやっているのかもしれないですけども、こっちは生活かかっていますので、これでは誰も納得できませんよ。なので、次回の説明会の際に、考えたんですけどやっぱり駄目ですよってなったら、誰も納得してくれませんので、本当にちゃんと持ち帰って、真剣に考えていただきたいです。お願いします。

(学務課長)

はい、ご意見ありがとうございます。家を買われて、もっと早く分かっていたら違ったのというご意見は本当に重く受け止めなければならないと思っております。先ほど推計の話も所管からさせていただきましたが、結果として遅いじゃないかというご批判は、承るしかできないと思いますので、今後、とにかくできることとしてという形で、寄り添いながらできるのかということを持ち帰って検討させていただければということでご理解いただければと思います。以上です。

(質問者 10 人目)

すみません、最後、滑り込みで。私、夏見5丁目に住んでいて、年中とその〇つ下の子がいるんですけど、一方的な説明会かなと思って聞いていました。私たちが、八栄小学校にすごく魅力を感じてるというよりは、皆さん、考え方はあると思うんですけど、周りの子が行ってるから安心感を感じるとか、周りの子が行っていて、どんな小学校か分かっているからいいよねって思うところはすごくあると思うので、紙切れ何枚でじゃあ、来年からこの小学校行ってくださいというのは、やはりすごく不安に感じることの現れかなと思います。なので、たとえば、夏見台小学校とか市場小学校に何回か子供を連れて行かせてもらえるとか、2、3年くらいは入学前に交流会みたいな感じで、今までは会わなかったけど近所のお子さんたちと触れ合うとか、そういった解消していく具体的な案がすごく必要かなと思いました。あともう一つは通学路の件なんですけども、私も海老川沿いに住んでいて、確かに河川沿いに子供一人で歩かせるというのはいろいろ不安ではありますが、例えば柵を付けるとか、自転車は確かにたくさん通るんですけど、自転車が通る道路と人が歩く道路を分けるとか、今、いろんな案が世の中にはあふれていると思うので、今ある形でこうしてくださいというよりは、不安なところを解消するために具体的にこういうことをしますとか、歩道をちゃんと整備しますとか、そういった話をもっとちゃんとお聞かせいただけると、こちらじゃあそちらで通ってみようかとかの気持ちになるかなと思いました。

(学務課長)

ご意見ありがとうございます。貴重なご意見として受けとめさせていただきたいと思います。今回は本当に至らない部分があったかと思うのですが、次の説明会に向けて参考にさせていただければと思います。通学路につきましては所管からお答えします。

(保健体育課長)

ありがとうございます。自転車につきましては、今現在も自転車を降りて歩いてくださいという看板を設置しているかと思うのですが、関係部署のほうに相談しながらそちらのほうも確認してまいりたいと思います。ありがとうございます。

(司会)

皆様、たくさんのご意見、ご質問、ありがとうございました。

皆様のご意見、ご質問に関しましては、本日、この場限りでなく、引き続き伺ってまい

りたいと考えております。

本日お配りしました次第の裏面に学務課学事係の電話番号と二次元コードも掲載しておりますので、お電話やメールでお寄せいただければと思います。

よろしく願いいたします。

本日いただいたご意見やご質問を持ち帰りまして、教育委員会内でしっかり検討させていただきます。検討の後、年度内を目途に次回の説明会を開催したいと考えております。日時等が決まりましたら市ホームページや町会の回覧等を通してお知らせいたしますのでよろしく願いします。

本日は、お忙しい中、ご参加いただき、誠にありがとうございました。

お気をつけてお帰りください。

ありがとうございます。